

■12月9日

スカイマーク、マイル導入を延期

(AviationWireによると)

スカイマークは、2014年1月に予定していたマイレージサービスの導入を延期する。エアバスA380型機を用いて参入する国際線事業の準備に集中するため。

国際線定期便の事業は同社にとって一大プロジェクトであることに加え、国内の航空会社では初のA380導入とあって、人的資源を集中したい考え。初号機は14年8月ごろ受領し、最初の路線となる成田ーニューヨーク線は12月以降に開設する見込み。

マイレージサービスの内容についても、日本航空や全日本空輸よりも使いやすいものを目指すと、当初計画よりも競争力を高める模様だ。

(AviationWire)12/8 6/20

<http://www.aviationwire.jp/archives/29657> (-> <http://www.aviationwire.jp/archives/29657>)

<http://www.aviationwire.jp/archives/22191> (-> <http://www.aviationwire.jp/archives/22191>)

ジェットスター・ジャパン(LCC)、国際線就航は5時間以内の路線、旅行会社経由販売を7対3まで拡大

ジェットスター・ジャパンは6日、国内線の総旅客数300万人達成記念式典を行い、鈴木みゆきCEOは、今後の路線展開について、国内線を軸に需要が高い地域や、今後人気が出てくると予想される地域に路線を展開し、ネットワークを拡大していきたい考えを明らかにした。

一方、2014年就航予定の国際線については国内路線の定着を優先するが、14年中には「節目として就航したい」考え。就航先は需要や競争環境を見ながら決定するとしており、日本から5時間圏内のデスティネーションを見込む。また、国際線の運航機材もエアバスA320型機で統一するという。

加えて、販路の拡大については、現在直販と旅行会社経由の比率は8対2だが、将来的には7対3まで増える見込みだとした。

(トラベルビジョン)12/8

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59841&pg=2> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59841&pg=2>)

沖縄県、下地島空港存続、来年1月末に方針決定

川上好久沖縄県副知事は6日県議会の場で、運営が危ぶまれているパイロット実機訓練飛行場、下地島空港の運営について、来年1月末をめどに存続するかどうか決断する考えを明らかにした。

訓練飛行場として継続する場合の維持費は約4億円(2013年度)、休港でも約1億円が必要とされる。

沖縄タイムスによると、川上副知事は「全日空に(訓練継続を)働き掛ける一方で、できない場合はどう対応するか検討している」と説明。全日空の訓練継続をめぐっては、当銘健一郎土木建築部長が「全く可能性がないということではないが、現在調整中だ」と述べ、「白紙」としていた従来よりも踏み込んだ。

(沖縄タイムス)12/8

<http://www.okinawatimes.co.jp/article.php?id=58463> (-> <http://www.okinawatimes.co.jp/article.php?id=58463>)

全日空、ボーイング747、里帰りフライト終了

全日空のボーイング747-400型機の「里帰りフライト」が8日、長崎発羽田行きのANA664便で全行程を終えた。

「里帰りフライト」は、過去にジャンボ機が就航していた空港の通常ダイヤで、機体をジャンボ機に交代して飛ばすフライトで、10月27日の羽田-函館を皮切りに、羽田-小松、羽田-広島、那覇-名古屋、羽田-鹿児島と全国を回り、羽田-長崎が最後の地となっていた。

ANAが現在運航しているジャンボ機は3機。2014年1月12日には、騒音対策のためジャンボ機の就航が途絶えていた伊丹空港へのフライトを予定しているが、同年3月末までに全機の引退が決まっている。

(毎日新聞)12/8

<http://mainichi.jp/select/news/20131208mog00m040006000c.html> (->

<http://mainichi.jp/select/news/20131208mog00m040006000c.html>)

(ANAプレスリリース)8/30 11/8

[http://www.ana.co.jp/pr/13\\_0709/13-098.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_0709/13-098.html) (-> [http://www.ana.co.jp/pr/13\\_0709/13-098.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_0709/13-098.html))

[http://www.ana.co.jp/pr/13\\_1012/13-118.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_1012/13-118.html) (-> [http://www.ana.co.jp/pr/13\\_1012/13-118.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_1012/13-118.html))

バニラ・エア(LCC)、成田空港、出発は第2ターミナル

NAAは6日、バニラ・エアが12月20日より成田-沖縄線、成田-台北線を1日1便で就航すると正式に発表した。使用機材はエアバスA320(座席数180席/一部166席仕様)。

出発ターミナルは、エアアジア・ジャパンとして運航をしていた第2ターミナルの同じ場所を使用する。

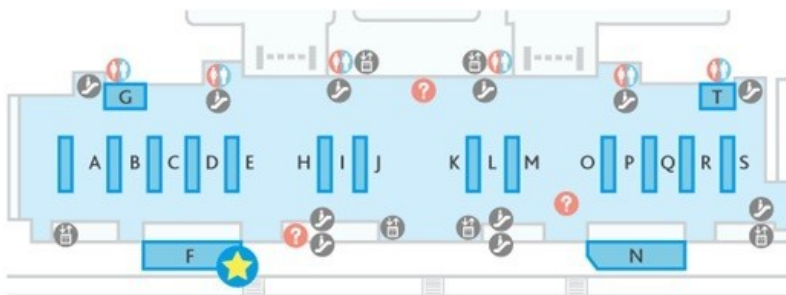
(バニラ・エア HP)

<http://www.vanilla-air.com/guide/airport/NRT-tokyo-narita> (-> <http://www.vanilla-air.com/guide/airport/NRT-tokyo-narita>)

## 国内線



## 国際線



韓国、防空識別圏拡大発表、民間航空機、運航制限なし

(日経によると)

韓国政府は8日、検討していた防空識別圏(ADIZ)の拡大を正式に発表した。韓国の飛行情報区(FIR)に沿う形で設定。日中の防空識別圏と一部が重なり、中韓が管轄権を争う暗礁の離於島(イオド、中国名・蘇岩礁)などが含まれ

る。15日から効力を発揮する。

韓国国防省の幹部は8日記者会見し、「国防省や外務省が個別に日本や中国などの周辺国に事前に十分に説明してきた」と強調。そのうえで「国際ルールに合うもので、民間航空機の運航は制限されない」と話した。

韓国政府が新たに設定した防空識別圏は、韓国のFIRに沿う形で設定しており、最南西の地点は北緯30度東経124度まで延長。日中が防空識別圏を設定している離於島のほか、現在は日本の防空識別圏に含まれている馬羅島も入る。

(日経)12/8

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK0800D\\_Y3A201C1000000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK0800D_Y3A201C1000000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK0800D\\_Y3A201C1000000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK0800D_Y3A201C1000000/))

(yonhapnews)12/8

<http://japanese.yonhapnews.co.kr/headline/2013/12/08/0200000000AJP20131208000700882.HTML> (->

<http://japanese.yonhapnews.co.kr/headline/2013/12/08/0200000000AJP20131208000700882.HTML>)

エア・カナダ、羽田—トロント線、昼間時間帯に就航、ボーイング787で

エア・カナダは6日、2014年7月1日から羽田—トロント線に羽田の昼間発着枠を使用し、就航すると発表した。使用機材はボーイング787-8型で一日1便の運航を行う。

同社は、成田—トロント、カルガリー、バンクーバー線について就航継続も発表し、2014年は羽田線とあわせて日本—カナダを結ぶ4路線の運航をおこなう。

Flight	Depart	Arrive
AC 005	Toronto at 13:00	Tokyo-Haneda at 14:55 (plus one day)
AC 006	Tokyo-Haneda at 17:40	Toronto at 16:40

(flyteam)12/8

<http://flyteam.jp/news/article/29622> (-> <http://flyteam.jp/news/article/29622>)

(エア・カナダ プレスリリース)12/6

<http://aircanada.mediaroom.com/index.php?s=43&item=723> (-> <http://aircanada.mediaroom.com/index.php?s=43&item=723>) (->)

エバー航空、成田—高雄線就航、12月12日からDaily運航

成田空港会社(NAA)は5日、エバー航空が12月11日より、成田—高雄線を新規開設すると発表した。使用機材はエアバスA321型機(計184席)で1日1便運航する。

NAAによると、今回の新規路線開設は、本年3月より実施された成田空港における日台間のオープンスカイの成果により実現した。(→)

(NAAプレスリリース)12/5

<http://www.naa.jp/jp/press/pdf/20131205-evaair.pdf> (-> <http://www.naa.jp/jp/press/pdf/20131205-evaair.pdf>)

(日刊航空)12/6

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1206-03.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1206-03.pdf>)